



2017年8月29日

各位

株式会社メディアシーク

メディアシークの動画配信プラットフォーム「MADO」 ロイヤリティフリーのコーデック「VP9」に対応！

株式会社メディアシーク(本社:東京都港区、代表取締役:西尾直紀、以下「メディアシーク」)は、独自の動画配信プラットフォーム「MADO」の機能を強化し、ロイヤリティフリーな動画圧縮コーデック「VP9」に対応したサービスを開始しました。現在主流となっている「H.264」コーデックに比べ圧縮効率が高くロイヤリティフリーの「VP9」に対応することにより、スマートフォン向け動画配信サービスにおいて、コストを低減しつつ高画質のサービスを実現できます。

現在、スマートフォン向け動画配信サービスにおいては「H.264」コーデックを使い圧縮された動画が主流となっていますが、「VP9」は、より少ないデータ通信量で「H.264」コーデックと同等以上の画質を実現でき、さらに、ロイヤリティフリーで利用できることから、サービス品質の向上と配信コストの低減を同時に実現することができます。スマートフォン向けWEB環境でマルチ動画配信を実現する「MADO」プラットフォームなら、専用アプリも不要のため、WEB環境で複数動画の同時再生サービスなど低コストで高画質のサービスを実現できます。

メディアシークは、各種事業者向けに「H.264」ほか既存コーデックを使った動画ライブラリを、「VP9/MADO」にフォーマット変換するためのサポートも含め「MADO」プラットフォームの総合的な導入支援サポートを行っています。メディアシークは、スマートフォン向け動画配信サービスのさらなる付加価値向上のため、今後も「MADO」プラットフォームのさらなる機能拡張やバージョンアップを進めていく予定です。

■ スマートフォン向けマルチ動画配信サービス「MADO」

メディアシーク独自の動画最適化エンジンにより、スマートフォンのWEB環境で複数動画の同時再生が可能に。これまでスマートフォンで実現が難しかった「マルチ動画の同時再生」をアプリを使わずWEB環境だけで実現。高効率の「VP9」フォーマットにも対応し高品質動画のマルチ再生とスムーズで軽い快適な操作を誰でも手軽にお楽しみいただけます。

MADO : <https://www.mediaseek.co.jp/mado/>

- 本プレスリリースに記載された会社名および商品名/サービス名は各社の商標または登録商標です。
- 本プレスリリース記載の情報は発表日現在の情報です。予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。